

- 問1 琉球王国の繁栄を記した当時の歌謡には、那覇の港に中国や南蛮（東南アジアなど）の船が集まり、首里の王の統治下で島が賑わう様子が描かれています。琉球王国がこのような広範囲な貿易ネットワークを築き、「万国の津梁（世界の架け橋）」として機能できた背景として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 神奈川県公立入試 類似）
- 江戸幕府から朱印状を与えられた商人が、東南アジア各地に日本町を建設して琉球を拠点としたため。
 - 倭寇と呼ばれる海賊集団を武力で鎮圧し、東シナ海全域の航路の安全を琉球王国が単独で保障したため。
 - 中国の明との間に朝貢関係を結び、中国との正式な貿易ルートを確認しながら、東南アジア諸国との取引を仲介したため。
 - 東インド会社を設立してヨーロッパ諸国と直接取引を行い、最新の航海技術を導入して独占的な地位を築いたため。
- 問2 1467年に京都で始まり、約11年間にわたって続いた戦乱について、その発生の直接的な背景と、社会に与えた影響の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2021年 新潟県公立入試 類似）
- 徳川家康と石田三成の対立が背景となり、戦乱の後には幕府による大名への統制が厳しくなった。
 - 将軍のあとつぎ問題や守護大名の対立が背景となり、実力のある者が上の身分の者に打ち勝つ下剋上の風潮が広がった。
 - 農村での一揆が全国に広がったことが背景となり、幕府が守護大名の力を借りて農民を支配する体制が強化された。
 - 海外との貿易利権をめぐる対立が背景となり、将軍の権威が高まって守護大名の力が弱まった。
- 問3 14世紀末に明の皇帝から「日本国王」の称号を得て、それまで途絶えていた中国との正式な国交を回復させ、日明貿易（勘合貿易）を開始した室町幕府の第三代将軍は誰か、名称を答えなさい。（2018年 岐阜県公立入試 類似）
- 足利義満
 - 足利義政
 - 足利尊氏
 - 足利義昭
- 問4 室町時代、足利義満の保護を受け、父である観阿弥とともに猿楽を洗練させ、舞台芸術としての「能」を大成させた人物は誰ですか。（2023年 大阪府公立入試 類似）
- 近松門左衛門
 - 世阿弥
 - 雪舟
 - 観阿弥
- 問5 足利義政が推進した東山文化の特色や、その後の日本人の生活に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2015年 山口県公立入試 類似）
- 西欧の技術を取り入れた城郭建築が発達し、ふすま絵などの華やかで壮大な芸術が武士の間で流行した。
 - 天平時代の力強い建築様式を模範とし、唐招提寺金堂に見られるような国際色豊かな芸術が好まれた。
 - 禅宗の精神を取り入れた「わび・さび」を重んじ、畳や障子を用いた書院造という住宅形式が生まれた。
 - 金箔を多用した豪華な建築が特徴であり、大陸との貿易による富を背景にした公家文化が融合している。
- 問6 後醍醐天皇が行った「建武の新政」に関連する人物や出来事の説明として、正しいものはどれですか。（2021年 愛媛県公立入試 類似）
- 北条泰時が御成敗式目を制定し、建武の新政における裁判の基準とした。
 - 聖徳太子が制定した冠位十二階に基づき、家柄に囚われない人材登用が行われた。
 - 平氏を滅ばした源頼朝が、後醍醐天皇から征夷大将軍の職を授かった。
 - 鎌倉幕府を滅ぼすのに協力した足利尊氏が、後に離反して光明天皇を擁立した。
- 問7 15世紀後半、西回りでのアジア到達を目指したコロンブスの提案に対し、スペインが支援を決めた背景や理由として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）
- 地中海貿易の主導権を握っていたイタリア諸都市と同盟を結び、オスマン帝国の勢力を狭み撃ちにする目的があったからです。
 - 産業革命によって急増した工業製品の輸出先を確保するため、アジア市場の開拓を急ぐ必要があったからです。
 - すでにポルトガルがアフリカ回りの東洋航路開拓を進めていたため、それに対抗して独自の新航路を開く必要があったからです。
 - イギリスやオランダがすでに大西洋航路を独占していたため、北極回りの最短ルートを確保しようとしたからです。
- 問8 1167年の平清盛の太政大臣就任から、1582年の豊臣秀吉による検地開始までを記した歴史の変遷において、守護・地頭の設置や御成敗式目の制定よりも後の時代に、後醍醐天皇が目指した政治のあり方として最も適切なものはどれですか。（2018年 鳥取県公立入試 類似）
- 天皇がみずから政治を行い、武士ではなく公家（貴族）中心の政治に復帰させる仕組み
 - 武家が政治の主導権を握り、独自の裁判法によって全国を統治する仕組み
 - キリスト教を保護し、南蛮貿易を推進することで国力を高める仕組み
 - 将軍が守護を統制し、有力な武士と協力して幕府の権威を最大化させる仕組み
- 問9 日明貿易（勘合貿易）において、日本側の主な輸出品の組み合わせとして、適切なものはどれですか。（2020年 三重県公立入試 類似）
- 銅・刀剣（日本刀）・扇
 - 香料・砂糖・象牙
 - 銀・鉄砲・キリスト教関連品
 - 生糸・絹織物・陶磁器
- 問10 室町時代初期、三代将軍の足利義満の時代に栄えた文化について、公家文化と武家文化が融合し、禅宗の影響を強く受けたという特徴を持つ文化の名称として最も適切なものを選択してください。（2022年 香川県公立入試 類似）
- 桃山文化
 - 東山文化
 - 天平文化
 - 北山文化
- 問11 15世紀、沖縄島に分立していた北山・中山・南山の三つの勢力を統一して建てられ、首里を拠点に中国や日本、東南アジア諸国を結ぶ中継貿易で繁栄した国家の名称を答えなさい。（2023年 富山県公立入試 類似）
- 琉球王国
 - 蝦夷地
 - 堺
 - 比叡山延暦寺
- 問12 14世紀の東アジアでは、中国で明が建国されて元が北方へ退き、朝鮮半島では高麗に代わって朝鮮国が建国されるなど、大きな社会の変化が起こりました。この時期、日本や中国、朝鮮半島の沿岸部で「倭寇」の活動が活発化した主な要因として、当時の各国に共通していた背景を説明したものを選びなさい。（2015年 大分県公立入試 類似）
- 各国で強力な中央集権体制が整い、対外進出が積極的に推奨されたため
 - 元が日本に侵攻した元寇の影響により、東アジアの制海権が完全に失われたため
 - 各国が鎖国政策を採用したことで、正規の貿易ルートが完全に遮断されたため
 - 各国の国内の情勢が不安定で、沿岸部の取り締まりが十分ではなかったため
- 問13 中世の日本において、商人や手工業者が公家や寺社などの権力者に税を納める代わりに、営業の独占権や保護を受けるために結成した同業者団体を何といいますか。（2021年 岐阜県公立入試 類似）
- 座
 - 問屋
 - 株仲間
 - 惣

答え合わせ・解説

問1	答え 3 中国の明との間に朝貢関係を結び、中国との正式な貿易ルートを確保しながら、東南アジア諸国との取引を仲介したため。	琉球王国は中国（明）の皇帝に対して貢物を送り、その返礼品を受け取る「朝貢」という形式で公的な貿易を行っていました。当時、明は民間貿易を厳しく制限していたため、正式な貿易ルートを持つ琉球は、東南アジアの特産品を中国へ、中国の特産品を日本や東南アジアへ運ぶ役割を一手に引き受けることができました。
問2	答え 2 将軍のあとつぎ問題や守護大名の対立が背景となり、実力のある者が上の身分の者に打ち勝つ下剋上の風潮が広がった。	室町時代の中期、8代将軍足利義政の後継者をめぐる争いに、細川勝元と山名宗全という二大守護大名の勢力争いが結びついたことで応仁の乱が勃発しました。この戦乱により幕府の権威は失墜し、中央の統制が及ばなくなったことで、身分が下の者が実力で上の者を倒して領地を広げる「下剋上」の風潮が全国的に広まりました。これが、のちの戦国時代へとつながる大きな転換点となりました。
問3	答え 1 足利義満	足利義満は南北朝の合一を成し遂げた後、強力な権力を背景に明との外交交渉を進めました。当時、東シナ海で活動していた海賊（倭寇）の取り締まりを求める明側の要求に応じる形で、1401年に正式な国交が樹立されました。
問4	答え 2 世阿弥	室町幕府の第3代将軍である足利義満は、北山文化の時期に多くの文化人を保護しました。その中で世阿弥は、父の観阿弥とともにそれまでの猿楽（田楽や猿楽などの庶民的な芸能）を洗練された歌舞劇へと発展させ、現代まで続く「能」を完成させました。観阿弥は世阿弥の父、雪舟は室町時代の水墨画家、近松門左衛門は江戸時代の人形浄瑠璃の作者です。
問5	答え 3 禅宗の精神を取り入れた「わび・さび」を重んじ、畳や障子を用いた書院造という住宅形式が生まれた。	第八代将軍の足利義政は、応仁の乱後の荒廃した社会の中で、内面的な美しさを追求する文化を支持しました。慈照寺銀閣の東求堂にある同仁斎（どうじんさい）という部屋は、畳を敷き詰め、棚や机（付書院）を備えた書院造の代表例であり、現代の和室の原型となりました。
問6	答え 4 鎌倉幕府を滅ぼすのに協力した足利尊氏が、後に離反して光明天皇を擁立した。	建武の新政に不満を持った武士たちの支持を集めた足利尊氏は、後醍醐天皇に反旗を翻しました。尊氏が京都を占領して光明天皇を立てたのに対し、後醍醐天皇は吉野（奈良県）に逃れて自らの正統性を主張したため、日本は南北朝時代という分裂期に突入することになります。
問7	答え 3 すでにポルトガルがアフリカ回りの東洋航路開拓を進めていたため、それに対抗して独自の新航路を開く必要があったからです。	当時、ライバルであるポルトガルがアフリカ南端を経由してインドへ向かう東回り航路の開拓を進めていました。ポルトガルに対抗しようとしたスペインは、西回りでアジアを目指すコロンブスの計画を採用し、航海の資金援助を行いました。
問8	答え 1 天皇がみずから政治を行い、武士ではなく公家（貴族）中心の政治に復帰させる仕組み	建武の新政は、鎌倉幕府の滅亡後に後醍醐天皇が行った、天皇自らが政治の全権を握る「天皇親政」の試みです。武家政治によって奪われた権力を公家に取り戻そうとしましたが、武士の慣習を無視した過激な改革であったため、足利尊氏ら離反した武士たちによって、開始からわずか2年余りで崩壊しました。
問9	答え 1 銅・刀剣（日本刀）・扇	当時の日本は、豊かな鉱物資源を背景とした銅や、高い工芸技術で作られた刀剣、扇などを明に輸出していました。特に刀剣は明で高い評価を受け、大量に輸出されました。選択肢にある「生糸」や「絹織物」、「陶磁器」は当時の日本が明から輸入していた代表的な品目であり、輸出品と混同しないよう注意が必要です。
問10	答え 4 北山文化	足利義満が京都の北山に金閣（鹿苑寺）を建立した時期の文化を指します。この時期は義満が公家の最高位である太政大臣に就任するなど、武士が公家社会の伝統を取り入れつつ、自らの力強さを誇示したため、華やかで融合的な文化が形成されました。また、遣明船によってもたらされた禅宗の僧侶たちの知識や美意識も大きな影響を与えています。
問11	答え 1 琉球王国	15世紀初め、中山の勢力であった尚巴志が、北山と南山の勢力を下して沖縄島を統一したことで成立しました。首里を首都として整備し、地理的条件を活かして東アジアから東南アジアにわたる広範なネットワークの中継地として、独自の文化を育みながら栄えました。
問12	答え 4 各国の国内の情勢が不安定で、沿岸部の取り締まりが十分ではなかったため	14世紀の東アジア諸国は、いずれも政権の交代や内乱の最中にありました。日本では鎌倉幕府の滅亡から南北朝の動乱へと続く混乱期にあり、中国では元に代わって明が建国され、朝鮮半島でも高麗から朝鮮国への王朝交代が起きていました。このように各国で国内の情勢が不安定であったため、沿岸部での組織的な海賊行為である倭寇を抑え込む公的な力が弱まり、活動の拡大を許すことにつながりました。
問13	答え 1 座	平安時代から室町時代にかけて発達した、商工業者の組織についてです。特定の公家や寺社（本所）と結びつくことで、市場での独占販売権や、交通の要所に設置された関所の通行税免除といった特権を得ていました。江戸時代に幕府から営業の独占を認められた「株仲間」とは、時代背景や保護者が異なる点に注意が必要です。